

# 教育長行政報告

## 学校教育の推進について

1点目は、「信頼される学校づくり」についてであります。その1つ目は、教育委員の本年2回目の学校訪問を2月13日、朝日小学校・新冠小学校、2月24日には新冠中学校において実施いたしました。

今回の訪問は、各学校とも教職員・学校評議員・保護者からの外部評価を実施しており、それぞれ4段階による評価を受けておりますが、その評価項目、学校経営・教育活動（教育課程、学習指導、児童生徒指導等）・開かれた学校づくり・地域との連携などの説明とそれに対する指導・助言であります。

主な評価等について申し上げますと、学校経営について教職員間の信頼関係の構築不足、学級づくりのために学校全体での取組の欠如等、教育課程につきましては、問題解決型学習等の授業づくりの検討、補充学習の重視や、個に応じた指導の必要性等、又、保護者との連携につきましては、学力向上に向けての学校と家庭との連携強化、児童生徒の実態を適切に捉え学校と家庭の協力の下、共通した指導の必要性等の内容であります。新年度の計画にそれらの改善策を講じていけるよう指導・助言してまいります。

教育委員会からは、学校行事等におけるレコード館の積極的な活用、地域における人材の活用、地域との連携、教職員の積極的な研修への参加など、多くの意見要望が出

され、学校における対応について学校長・教頭との協議が行われました。今後、保護者に対し評価結果を公表し、適切な説明責任を積極的にを行い、平成21年度に向け取り組むよう、指導してまいりたいと思います。

次に、教職員との面談についてであります。教職員一人一人と面談し、信頼される学校づくりのため、教員の指導力の向上、ニーズに応じた教育の実施・学級経営・児童生徒保護者との関わり方・学習意欲の見だし・学力向上策・人事に関する考え等について、教育委員会の考えを述べるとともに、教職員との忌憚のない意見の交換を行いました。面談においては教職員一人一人の悩み・疑問を聞くことができ、今後の指導に結びつける良い機会となりました。

開かれた学校づくりのため、教育委員会自らがP・D・C・A機能を生かし地域の理解を得るよう取り進めてまいります。

2点目は、平成20年度新冠中学校卒業生進路希望状況と平成21年度学級編制及び教職員数についてであります。

はじめに進路希望は卒業生43名（昨年度は63名）で、全員が進学を希望しております。3月1日現在9名の生徒が推薦を受け、全員が合格内定されており、進学希望校は静内高等学校が最も多く26名（全体の60%）をはじめ、他に道内各公立、私立高等学校7校へ17名の希望となっておりあります。なお、学力検査、面接試験が3月4・5日実施され3月17日合格発表の日程となっております。

次に学級編制及び教職員数についてでございますが、小学校における学級数は新冠小学校で1学年において、2学級編制と

なり普通学級が7学級で対前年度1学級増、特別支援学級2学級となります。

朝日小学校は、普通学級が6学級、特別支援学級が2学級となり対前年度で1学級増となり小学校全体では普通学級が前年度より1学級多い13学級、特別支援学級も前年度より1学級多い4学級で総体では17学級となります。

なお、児童数においては、新冠小学校は普通学級通学児童218名、特別支援学級通学児童5名、朝日小学校は、普通学級通学児童84名、別支援学級通学児童2名で小学校全体の児童数は、309名となり、前年度より13名増となっております。

中学校は、学級数においては普通学級6学級、特別支援学級2学級の8学級で前年度と同数であります。生徒数は、普通学級通学生徒161名、特別支援学級通学生徒2名で163名となり、前年度より3名増となっております。このような状況における教職員数は、小中学校合わせますと44名となり、前年度より1名増となります。

## 社会教育事業に関わる取組について

まず、成人式の実施についてであります。1月11日新成人49名と来賓多数が参加して開催いたしました。

その後の「成人の集い」は、地元の新成人が中心となり、実行委員会を組織し企画運営にあたりましたが、郷土芸能である新冠判官太鼓保存会の協力による太鼓の披露が行われたりして、郷土新冠を再認識する機会となりました。

また、式典ではふるさとのDVDの製作や手作りの料理を振舞うなど町内青年団

体が大きな役割りを果たしました。

2つ目は、2月21日に8回目となる昭和音楽大学とのパートナーシップコンサートを開催いたしました。

オープニングでは、新冠小学校の4年生から6年生の80名が「音楽創造体験事業」の校歌レコーディング事業で取組んだオリジナル曲を披露したほか、大学の講師や



学生による演奏や歌、レコード館で活動している町民音楽サークルが共通のテーマ曲を設定し、混声合唱するという新たな取組を行いました。

また、前日には新冠・朝日小学校において、大学のアウトリーチコンサートを開催したところであります。

## 青少年教育事業に関わる取組について

1つ目は、少年国内研修交流事業であります。小学6年生と中学1年生合わせて20名が、1月8日から3泊4日の日程で沖縄で実施いたしました。環境学習、体験学習、平和学習と歴史文化体験の3つのテーマに沿って研修しましたが、2月5日の研修報告会には、児童・生徒全員の手作りによる報告会の雰囲気は参加者はもとより、町民の皆さんも感動に包まれたところです。

2つ目は、本年度2回目の取組として、小学5・6年生を対象とした「学び・遊ぶ・つうがく合宿」を2月4日から3泊4日で青年の家を活動の拠点として、早寝・早起き・朝ごはん運動を取り入れて実施いたしました。

今回は、家庭教育学級を同時開催し、父母と児童が共に学び、考える時間を共有いたしましたし、掃除や基本的な生活体験、集団生活への適応等を学ぶことができる機会になったと思います。

次年度は、朝日小学校の児童も含めた合宿の検討をしてまいりたいと思います。

## 社会体育事業に関わる取組について

昨年度23日間開設した町民スケートリンクについては、本年度降雪量が少ないことと温暖の影響で基礎氷を作ることができず開設できませんでした。

また、町民憩いの広場パークゴルフ場は、昨年同様開設しており、町内外の多くの利用者が冬期間の運動の場として活用しております。今後は、春先の雪解けが進む頃には一旦閉鎖をいたしますが、状況を見て

次年度も管理委託するパークゴルフ協会とも協議しながら開設を進めてまいります。

新冠町スポーツ少年団が進めている総合型地域スポーツクラブ育成事業については、スポーツ少年団との共催で、1月13日・14日の1泊2日の日程により、日高町においてウインターフェスティバルを開催し、スキーやスノーラフティング等、当町では体験できない、冬体験を中心に実施し、59名の参加者から好評を得ました。

また、2月には3回日程で、剣道と柔道の武道体験教室を開催し、多くの子ども達のふれあいが何よりも良い刺激になったものと考えられます。

## 条

## 例

●新冠町青少年問題協議会条例を廃止する条例

●新冠町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

●新冠町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

●新冠町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

●新冠町社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例

●医師の給与に関する条例等の一部を改正する条例

●新冠町議会委員会条例の一部を改正する条例

# 新しい先生が着任されました

4月3日、新冠町役場で平成21年度の教職員着任式が行われ、小林教育委員長より、新たに新冠町に赴任、任用された先生方8名に、辞令書が交付されました。

新天地でのスタートに期待や不安があるとは思いますが、新冠が育む子どもたちのために、頑張ってください。



### 【前列左から】

- ①新冠小学校／奥村尚久校長 ②新冠小学校／清野真代教諭 ③新冠小学校／佐藤裕哉教諭  
④新冠小学校／中島早苗教諭

### 【後列左から】

- ①新冠小学校／小西さゆり養護教諭 ②朝日小学校／鹿海裕子教諭 ③新冠中学校／清水園美教諭  
④新冠中学校／安孫子瞬教諭